

**製品名: DNA リガーゼ I ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab10047**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	133kDa

**抗原情報**

遺伝子名	LIG1
別名	LIG1; DNA ligase 1; DNA ligase I; Polydeoxyribonucleotide synthase [ATP] 1
遺伝子 ID	3978.0
SwissProt ID	P18858
免疫原	抗血清はヒト DNL1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 111-160

**背景**

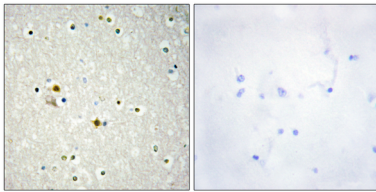
この遺伝子は、ATP 依存性 DNA リガーゼタンパク質ファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は、DNA 複製、組換え、および塩基除去修復プロセスにおいて機能します。この遺伝子の変異により DNA リガーゼ I の欠損が生じる

と、免疫不全症および DNA 損傷因子に対する感受性の亢進が起こります。この遺伝子の破壊は、様々な癌と関連する可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。 [RefSeq 提供、2014 年 1 月],触媒活性: ATP + (デオキシリボヌクレオチド)(n) + (デオキシリボヌクレオチド)(m) = AMP + 二リン酸 + (デオキシリボヌクレオチド)(n+m),補因子: マグネシウム,疾患: LIG1 の欠陥は、免疫不全および DNA 損傷因子に対する細胞過敏症を引き起こすようです。 ,機能: DNA 複製、DNA 組換え、DNA 修復中に二本鎖 DNA の切断を修復する DNA リガーゼ。 ,オンライン情報: DNA リガーゼエントリ,オンライン情報: LIG1 変異 db,類似性: ATP 依存性 DNA リガーゼファミリーに属します。 ,

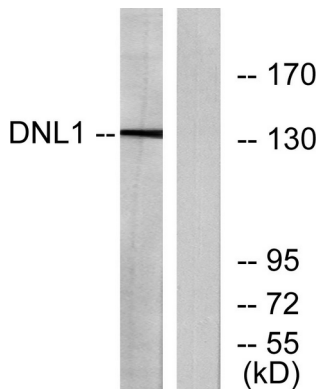
## 研究分野

DNA 複製、塩基除去修復、ヌクレオチド除去修復、ミスマッチ修復

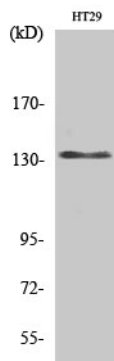
## 画像データ



DNL1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



DNL1 抗体を用いた HT-29 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 2000 に希釈した DNA リガーゼ I ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。